望ましい森林の姿

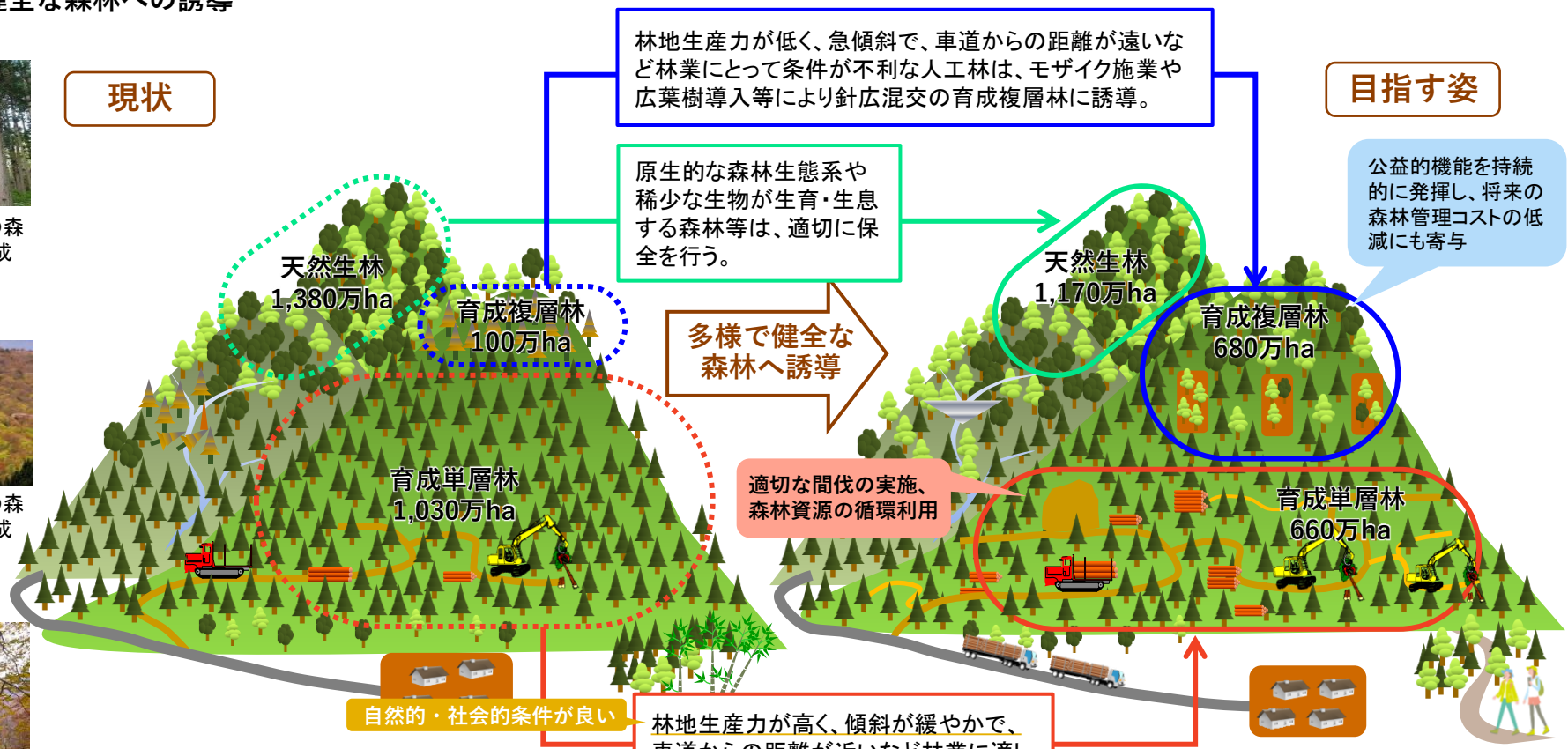
- 将来にわたって持続的に多面的機能を発揮できるよう、多様で健全な森林へと誘導する必要。
- 自然的・社会的条件が良く、林業に適した森林では、主伐後の植栽による確実な更新により育成単層林を維持し、資源の循環利用を図る。また、林業にとって条件が不利な森林では、モザイク施業等により育成複層林へと誘導。
- 原生的な天然生林は適切に保全するとともに、山村等に存する里山林は保全管理及び利用を推進。

■ 多様で健全な森林への誘導

樹齢・樹高が**単一**の森林として人為により成立・維持

樹齢・樹高が**複数**の森林として人為により成立・維持

主に自然散布の種子の発芽・生育により成立・維持



注1：林地生産力は、樹木の平均成長量を基に、
高（8㎥以上/年 以上）、中（5～8㎥/年）、低（5㎥/年 未満）と区分。
注2：傾斜は、作業システムへの対応や土壌保全等の公益的機能発揮の観点から、
急（30度以上）、中（15～30度）、緩（15度未満）と区分。